

関連資料 こども局予算の全体像

136事業 55,155百万円

基本理念

一人ひとりのこどもをかけがえのない存在として認め、こどもの視点に立ち、権利を守りながら、健やかな成長を支えるとともに、こどもや家族・家庭の抱える課題解決に取り組み、こどもが誰一人として取り残されることなく、包摂され輝ける熊本市を目指す。

推進体制 こどもを核としたまちづくりを推進するため「こども局」を創設

- 政策立案機能の強化・情報発信力強化
- 業務推進体制の強化

国の動向

- 「こども施策の新たな推進体制に関する基本方針」取りまとめ
- こどもまんなか社会を目指し「こども家庭庁」を創設(R5～)



主要課題

実施体制

8つの取組

目標

I. 出生数減少・少子化への対応

出生数の減少
7,144人(H24)
→6,093人(R3)

こども
育成部

① こども医療費の拡充 [2,212,858千円]

拡 こども医療費助成[こども支援課]等

高校生まで対象拡充・調剤の自己負担廃止

② 各種給付の見直し [17,310,530千円]

出産・子育て応援交付金[こども支援課]、児童手当給付経費[こども支援課]等

伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施

③ 保育の実施(保留児童の改善) [31,110,921千円]

医療的ケア児保育支援事業[保育幼稚園課]、利用者支援チーム関連事業[保育幼稚園課]等

受け皿確保とマッチングの充実

④ 手続きのオンライン化等 [1,402千円]

新 公立保育所キャッシュレス推進経費[保育幼稚園課]

延長保育料等のキャッシュレス

⑤ 結婚を希望する方への支援 [4,600千円]

少子化対策推進経費[こども政策課]

婚活イベント等の実施

⑥ すべてのこどもの居場所づくり [557,485千円]

新 こどもの居場所整備事業[こども家庭福祉課]、**拡** こどもの未来応援基金関係経費[こども政策課]等

包括的支援拠点を常設

⑦ 困難な状況にあるこどもへの支援 [3,941,936千円]

新 こどもの権利擁護推進事業[こども家庭福祉課]、**新** 子育て世帯訪問支援事業[こども家庭福祉課]、**新** 親子入所等支援事業[こども家庭福祉課]等

こどもの意見表明支援とヤングケアラー支援

⑧ 妊娠・出産に関する相談体制の充実 [15,120千円]

新 妊娠相談支援体制強化事業[こども家庭福祉課]等

(仮称)妊娠相談センターの設置

ようこそ赤ちゃんプロジェクト

現金 **10万円** を給付

妊娠+面談 **5万円** 出産+面談 **5万円**

対象 令和4年4月生まれから ※所得制限なし

受付 令和5年1月スタート

1 請求 (施設) → 2 支払い (LINE) → 3 管理/会計 (施設)

保護者

こども食堂

意見表明支援員

支援

意見表明

関係機関 (児童福祉施設等)

□結婚・妊娠・出産・子育てといった、それぞれの場面において切れ目のない一体的な支援を実施することにより、安心して子育てできる環境をつくる。

□こどもの居場所づくりやこどもの権利擁護など、困難な状況にあるこどもの支援を実施することにより、すべてのこどもの健やかな成長を支える。